

一新党準備會に対する再提議の件

(案)

わが無産大衆党は、八月廿九日付を以つて、貴會の秋党に対する態度、貴會の結党方針、並びに合同方針に關する貴會の聲明を煩はし、且つ、貴會の結党及び合同方針に關聯して、一つの提議を試みました。これに対し、貴會が九月二日付をもつて回答を寄せられたことは吾々のよろこびと云ふてあるが、しかし、その回答が長文であるにも拘らず、努めて問題の核心に觸れることを避けて、無産大衆が現下最も知りんと欲してゐる貴會の態度方針を依然として曖昧ならしめてゐることを遺憾とします。

「貴會は、無産大衆党の結党準備時代から結党直後にかけて合法政党的必要を否定しつゝ、最も悪辣な誹謗中傷を用ひて排撃を試み、特に無産大衆党は「官許党」であるといふ罵詈雑言を嘲笑を投じて得々たるものがあつた。しかし、その後一ヶ月を過ぎ、貴會は無産大衆党と合同せんとする「誠意」を有することゝ云々し、尚且つ我党と同じ合法的政党的として結党する方針を掲げられたることを聲明せられたる。無産大衆党が果して貴會の掲げる「官許党」であり、「官許党」をつくることが最も望むべきことであるならば、その「官許党」とやらに關つて即ち無條件的に合流せんと欲する貴會の「誠意」なるもの、及び官許中傷誹謗した「官許党」なるもの、結党に關つて進言せられたるもの、及び官許中傷誹謗した「官許